

教員の働き方改革について



星 雅人 議員

**質問**… 今後の方針を伺います。  
**答弁**… 文部科学省や県教育委員会との連携により会議、研修、報告書や調査の見直しを図り、教職員が働きやすくやりがいのある環境づくりを目指します。具体的には6月末に新たな検討委員会を開催し、教職員が健康で生き生きとやりがいを持って勤務できる環境の構築に取り組んでいきます。また、コミュニ

ティスクールの機能を充実させ、登下校の見守りや授業ボランティア、環境整備など地域の教育力を最大限に生かすことによる業務の見直しも図っていきます。  
**質問**… 部活動指導員を導入するべきと考えますが、市の考えを伺います。  
**答弁**… 部活動の指導を学校の教員が行うことは生徒とのコミュニケーションや生活指導等学校

教育上特に大きな役割を担っており、その教育的効果は極めて大きいものと考えています。したがって、部活動指導員の制度導入につきましては、現在のところ考えていませんが、今後他市町で部活動指導員を導入している自治体の取り組みについてその成果等を確認して大田原市でも検討していきたいと考えています。

一般質問



大豆生田 春美 議員

小中学校の主権者教育について

**質問**… 真岡西中学校のような主権者教育を参考に、本市の中学校の中でモデル校をつくり、行うことはできないかお伺いいたします。  
**答弁**… 市内中学校によっては、期日前投票や校内放送での演説会を実施したり、市の選挙管理委員会事務局職員から生徒会役員選挙の指導を受けるなど真岡西中学校の取り組みに極めて近

い形で行っています。モデル校を指定して研究を進めるより、各校の状況に応じて改善の働きかけを行っていく方が市全体の主権者教育の底上げ、充実が期待できると思われます。  
**質問**… 主権者教育に選挙かるたを活用してみていると思いますが、いかがでしょうか。  
**答弁**… 選挙用語の理解には非常に良い教材であると結論が出て

いると同時に、特に小学校で活用できるのではと考えます。ただ、学校には教育課程、年間カリキュラムがありまして、今から英語が1時間から2時間に増えるということでは余地がありません。これが一段落すれば、余裕が生み出せると思いますし、学校においては非常にいいことですので、取り入れられるようお願いしたいと思っています。